

## 夜市小学校で森林体験学習が実施されました！

令和6年1月23日（火）、周南市立夜市小学校において、同校5年生児童19名を対象に、「森林体験学習」が実施されました。

この取組は、次代を担う子供たちに、ふるさとの森林の大切さやそれを支える林業の役割などについて理解を深めてもらうため、林業研究グループ「徳山西グリーンサークル」（会長：村中眞一、会員17名）が実施したものです。

体験学習では、最初に森林の働きや林業の仕事について教室で学んだ後、体育館に移動して、林研会員によるチェーンソー実演の見学、木片の比重実験、丸太切り体験に取り組みました。

会員が用意した木は、スギ、ヒノキ、サクラ、クリ、カシの5種類です。児童らは、チェーンソーの実演では、会員によるスギ丸太の玉切りを見学し、チェーンソーの音と鋭い切れ味に歓声を上げていました。次に実施した木片の比重実験では、5種類の木片を水槽に入れて「沈む・浮く」かをクイズ形式で尋ねながら行い、その後、3種類の枝・葉（常緑のみ）と丸太のマッチングも同様にクイズ形式で楽しみました。

最後に、お好みの樹木の丸太を選び、会員の指導によって、大・小二つの鋸を使った丸太切りを体験しました。初めて使う大きい鋸に戸惑う児童もいましたが、コツを掴んで上手に鋸を扱い、たくさんのコースター（丸太の円盤）が出来上がりました。

児童らは、樹種によって、重さ、硬さ、香りなどが大きく違うことに驚くとともに、それぞれの特徴を実感しながら、楽しいひとときを過ごしました。



沈むか？浮くか？どっち



こうやって切るんよ！